

一般社団法人 川崎建設業協会 一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

協会 ニュース



高津区 二ヶ領用水久地円筒分水

●協会長挨拶 (一社)川崎建設業協会 会長 山根 崇

●寄稿 川崎南労働基準監督署 安全衛生課 課長 高橋 豊洋

●槌の音 現場レポート「川崎市新本庁舎新築工事」

●会員の作品

クレスト小杉スクエア新築工事
株式会社 大山組
日吉中学校校舎改修その他その3工事
株式会社 吉忠工務所
主要地方道東京大師横浜舗装道補修(切削)工事
河合土木 株式会社
神庭特別緑地保全地区斜面安定整備工事
株式会社 小沼工務店

協会ニュース

目 次

3…… 協会長挨拶 (一社) 川崎建設業協会 会長 山根 崇

■ 安全のページ

5…… 建設現場における危険と安全管理
川崎南労働基準監督署 安全衛生課 課長 高橋 豊洋

■ 理事会ニュース

6…… 理事会ニュース
8…… 懇談会・説明会・見学会・その他行事
9…… 関係団体の動き
10…… 各方面への協力
11…… 表 彰
12…… 特設作業隊関係
13…… 会員消息

■ 二世会だより

14

■ 槌の音

18…… 現場レポート「川崎市新本庁舎新築工事」

■ 会員の作品

21…… クレスト小杉スクエア新築工事
株式会社 大山組
22…… 日吉中学校校舎改修その他その３工事
株式会社 吉忠工務所
23…… 主要地方道東京大師横浜舗装道補修（切削）工事
河合土木 株式会社
24…… 神庭特別緑地保全地区斜面安定整備工事
株式会社 小沼工務店

25…… 編集後記、表紙の写真説明



(一社) 川崎建設業協会 会長

山根 崇

秋晴の候いかがお過ごしでしょうか。皆様方には日頃から大変お世話になり感謝申し上げます。

コロナウィルスが蔓延してから約3年近く経過しようとしています。しかし未だにコロナウィルス収束のめどは立っておりません。幸いにもワクチン接種が進み、現在では怖い病気ではないように思えます。ウィズコロナとして今後も共存していくことになるようであります。

さて、6月の定時総会におきまして、一般社団法人川崎建設業協会 会長として再任を受けることになりました。引き続きどうかよろしくお願い申し上げます。

1期目は最初からコロナウィルスにより協会事業の大半が中止に追い込まれました。ようやく最後にコロナ禍以前のような活動が出来るようになってまいりました。これまでの2年間は協会運営を思うように行う事が出来ず、会員の皆様にもご不便をおかけしたことと思います。

経済は昨年ごろより回復基調になり、現在では世界中がインフレに直面している状況であります。また日本では円安が進行したため輸入資材を中心に価格が高騰し、またロシアのウクライナに対する軍事侵攻により、特にエネルギー単価が高騰していること、中国のゼロコロナ対策によりサプライチェーンが滞っていることなど大幅な建設コストの上昇が続いております。徐々に厳しさを感じるようになってまいりました。本当に先行きが不透明な状態となっています。今後、スムーズに価格転嫁を行っていかなくては業界自体が疲弊してしまいます。このような影響から民間工事も減少傾向になっていけば利益のみを減らして受注をしていかなくてはならない時代も来るかもしれません。

かつて平成のバブルが崩壊した際も業界全体が過当競争に晒される状態に陥りました。繰り返される最安値競争により疲弊しきってしまった時代が再び戻ってしまうことを危惧いたします。そのようなことにならないよう協会としても注視し官民含めて適正な予算要望をしていかななくてはならないと考えております。

今回のコロナ禍は良い変化も生み出しました。特に働き方は大きく世界的に変化をしたと思います。リモートワークが当たり前となり会議はネットワーク会議が大幅に増えました。しかし我々、中小建設業にとってネットワーク会議ですら導入することは程遠い状態ではないかと思います。今後を見据え、協会におきましてもネットワーク会議などを取り入れていかななくてはならないと考えています。移動の時間なども圧縮することに繋がり効率的に業務が行えることは大きなメリットにもなり重要な事だと思います。

また、建設DXの導入やリモートワーク、テレワークといった働き方に直結するものは労働者確保についても業界の魅力づくりにもつながるものと思います。こうした機会に会員企業がとり組めるようにサポート体制づくりを今後進めていきたいと思っております。

またもっとも重要な課題として、建設業は担い手の確保をするためにも働き方改革を積極的に取り組んでいかななくてはなりません。日本全体として働き手の不足が深刻であり、高齢者の定年などを延長することで現状は対処しているのが実情であります。しかしこのままでは徐々に建設業に従事するものが減っていき産業構造そのものが成り立たなくなる可能性すらあります。業界が陥っている負のイ

メージを払拭し、若者がこの業界で働きたいと思える、女性でも違和感なく働ける、何よりも魅力ある職場環境を構築することが最大の課題であります。国土交通省が推進している新3K（給料が高い、勤務時間の短い、希望ある職場）を実現するためにも協会として積極的に活動していく必要があります。特に建設業は公共工事が主体の会社もあり、環境改善を行うためには入札契約制度の改革は不可欠であり、早期に実現をさせていかなければなりません。どうか皆様の引き続いてのご協力よろしくお願い申し上げます。

また今年も多く豪雨災害などが発生しています。いつ川崎で発災となっても迅速に行動できるように特設作業隊についてもしっかりと連携していきたいと思えます。ただし、このように毎年のように災害が発生することの要因として自然環境の変化によるところが大きいと考えられています。その中でも特に二酸化炭素の排出による地球温暖化の影響があるようであります。自然環境を守るためにも二酸化炭素の排出をゼロにする、カーボンニュートラルに対する取り組みが世界的に積極的に推進されております

が、川崎市においても「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」と表し、事業者、団体に対して協力を求められています。我々川崎建設業協会としてもその趣旨に賛同しておりますが、今後は具体的な取り組みについても考えていかなくてはなりません。協会としてまた協会員企業が二酸化炭素排出をゼロにするために、どのようなことが行えるのかを調査研究し発信していく必要があります。また関連して世界的に取り上げられておりますSDGs（持続可能な開発目標）についても川崎市は積極的に推進を図っております。その実現に向けて協会としての取り組みも考えて参りたいと思います。

最後に、協会として、将来に渡り地元建設業で働こうという人材を地域で育み、そして地域の建設業で働いてもらう。そして地域の仕事は地元で行う。地域で何かあった際には必ず先陣を切って動くそんなことを目指し活動してまいりたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

建設現場における危険と安全管理

川崎南労働基準監督署 安全衛生課 課長 高橋 豊洋

令和4年4月1日付けで川崎北労働基準監督署から川崎南労働基準監督署の安全衛生課長に異動となりました高橋と申します。一般社団法人川崎建設業協会及び会員の皆様には、日ごろから労働災害防止の取組にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、医療従事者の感染や職場内の集団感染など令和3年には、全国で1万9千人以上が労働災害として報告されましたが、本年も第6波、第7波と呼ばれる感染者の増加が見られ、昨年以上に新型コロナウイルス感染症による労働災害が報告されています。

建設現場における集団感染も複数発生しており、川崎市内の建設現場でも一時現場作業を中止するなど、施工管理を行う上で工事への影響が発生しています。このため、厚生労働省としては、職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために、事業場で留意すべき「取組の5つのポイント」をはじめ、各事業場の実態に即した感染予防対策を徹底して継続することをお願いしています。

さて、昨年、神奈川県下で発生した労働災害は、死亡災害が49件発生し、うち、21件が建設業における死亡災害であることから、建設業における死亡災害の発生割合が高い状況となっております。災害の発生状況は、足場などの高所からの墜落や建設機械等による接触などが多く、繰り返し同様の死亡災害が発生しています。

また、新型コロナウイルス感染症による労働災害が多数報告されたことから、休業4日以上労働災害は、前年比プラス1,051件とこれまで経験したことのない大幅な増加となったことに危機感を強めています。

建設業における労働災害防止については、これらを踏まえ、死亡災害を含めた重篤な労働災害の発生を防止するために行政の重点対策として推進しており、事業者が講ずべき措置として工事別の労働災害防止上の重点事項を定めるとともに、店社及び工事現場における安全衛生管理体制の確立やリスクアセスメントの導入、墜落・転落災害の防止、建設機械等による災害の防止等を重点事項として取組みをお願いしています。

ところで、建設現場で重点とされている墜落・転落防止対策があらゆる場面で確実にとられているのか疑問を感じることがあります。

墜落の危険がある高所作業では、足場等の組立により作業床を確保し、手すりの設置等により、墜落・転落防止措置を図る必要がありますが、足場等の設置が困難な狭隘な場所も都市部には多く存在しているほか、建設現場の状況が工事の進捗とともに変化していくことに墜落防止措置が対応できていない現場もあるように思います。

最近では、建設資材等の高騰や建設現場で作業を行う労働者

の確保、工事費用のコスト削減などが求められることにより、現場の安全管理を行う者の負担が増加し、品質管理や工程管理等に追われ、本来行わなければならない安全措置が疎かになっているのではないかと考えられる現場もあります。

これらの問題は、工事を行う事業者のみならず、発注者や業界団体、労働災害防止団体としても考えていかなければならないのではないのでしょうか。

建設現場における安全衛生対策については、工事計画、着工から竣工、引渡しに至るまでの全工程において取組む必要があり、特に計画段階で工事に関わる危険要因を的確に捉え、対処方法等を検討し、安全確保のために対策を実行していくことが求められますが、工事の進捗により、危険要因等が変化する場合、同一の場所で同時期に複数の事業場の労働者が作業を行うこととなるため、作業に伴う危険性等については、関係請負人が共通認識を持たなければ無災害の達成は困難となります。

墜落する危険(危険要因)が分からなければ、作業床の確保や手すりの設置といった対処方法も当然考えられず、墜落する危険を認識していたとしても、墜落することはないだろうと考えている労働者がいれば、同じく危険を防止する措置は講じられないこととなりますので、作業に関わる労働者全員が墜落する危険に対して、同じ認識を持つことが必要であると考えています。

工事中の建設現場を見ると、手すりがないまま高所で作業を行う者、昇降設備があるにもかかわらず足場をよじ登る者、墜落制止用器具(安全带)を着用していても使用していない者、取り外した手すりを放置する者等が散見され、管理する者の問題なのか、作業を行う者か、あるいは両者かは不明ですが、少しの間、現場を見るだけでも危険が認識されていないと感じることが多くあります。

建設現場における関係請負人及び労働者に作業の危険性や危険度をどのように周知していくのかは、課題の一つですが、労働安全衛生法第28条の2により、作業行動等に伴う危険性又は有害性等を調査し、その結果に基づき改善措置を講じるよう定められており、厚生労働大臣による指針も公表されていることから、いわゆるリスクアセスメントの実施について、どのように現場に取入れ、活用していくのか検討する必要があるのではないのでしょうか。

安全に働くためには、危険を知る必要があり、安全を確保するためには、危険を排除、低減しなければなりません。

このためには、事業者と労働者の双方が協力して、安全意識の高揚を図り、危険を考える時間の確保に努めてもらいたいと思います。

一般社団法人川崎建設業協会の会員の皆様には、労働災害防止に関し、特段のご配慮をいただいていることに感謝するとともに、今後とも死亡災害が発生しないことを期待しています。

理事会ニュース

1月19日(水)午前11時より4階会議室において (川建協)

※令和4年正月太子講祭について

※2月の執行部会・理事会の休会について

※農業振興地域内農用地区域の適正な土地利用について

川崎市長

※「やさしい日本語」研修について

市民文化局多文化共生推進課

(神建協・連絡)

特にありません。

3月16日(水)午前11時より4階会議室において (川建協)

※委員会の事業報告について

総務委員会：講演会の開催について

※ウクライナへの人道支援に対する義援金について

寄託先：日本赤十字社川崎地区本部 地区本部長 川崎市長

※令和4年度主要行事予定(案)について

※川崎市木材利用促進フォーラム運営委員の推薦について

川崎市木材利用促進フォーラム事務局(まちづくり局長)

任期 令和4年3月26日～令和6年3月25日(2年間)

被推薦者 建築委員会委員長 大川原 勝氏

(令和2年7月～令和4年3月まで現職)

※川崎市環境審議会の部会設置に伴う委員の推薦について

川崎市長

任期 令和4年5月～令和4年11月(7か月間)

被推薦者 建築委員会委員長 大川原 勝氏

※建通新聞「川崎市建築家の会作品集」発行への協賛広告

掲載について

※講演会の開催について

開催期日 4月15日(金) 午後3時～(質疑応答を含めて
90分程度)

開催場所 川崎建設会館 4階講堂

講演内容 (仮)「SDGs未来都市かわさき」

※令和4年4月からの入札契約制度の見直しについて

財政局長

※公共工事設計労務単価等の改定(令和4年3月)に伴う特例

措置等の実施について

川崎市長

※新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置

を実施すべき区域の変更及び期間の延長(令和4年3月4

日)に伴う工事及び業務の対応について

財政局契約課長

※代表者の変更について

◆露木建設(株) (令和3年11月27日付)

新：代表取締役社長 露木 直巳

旧：代表取締役会長 露木 直義

※住所の変更について

◆大場建設(株) (令和4年2月11日付)

新：〒211-0053 中原区上小田中1-36-14

TEL:044-741-2218 FAX:044-741-2217

旧：川崎区浅田3-1-19 TEL:044-344-0449

※弔慰について

●河崎組建設業(株) 代表取締役社長 河崎 庄司様(43歳)

(当協会理事 河崎組建設業(株) 代表取締役会長 河

崎 茂様 ご長男) 令和4年2月7日ご逝去

※会員の退会について

◆宮田土建工業(株) 代表取締役 野平 雅人(3月31日付
退会)

(会員数 103社→102社)

(神建協・連絡)

特にありません。

4月13日(水)午前11時より4階会議室において (川建協)

※委員会の事業活動について

◆総務委員会：講演会の開催について

開催日時 4月15日(金) 午後3時～

(質疑応答を含めて90分程度)

開催場所 川崎建設会館 4階講堂

講演内容 (仮)「SDGs未来都市かわさき」

※令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

※特定工事請負契約の作業報酬下限額について

財政局契約課長

※請求書の押印省略について

川崎市会計室審査課

※令和4年度「春の全国交通安全運動」等の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

※令和4年度仮設物損料その他経費負担協定について

締結日：4月1日(協定内容は3者とも昨年と同じです。)

締結先：(一社)川崎市電設工業会、(一社)川崎市空調衛

生工業会、川崎市通信設備連絡協議会

※代表者の変更について

◆河崎組建設業(株) (2月15日付)

新：代表取締役 河崎 茂

旧：代表取締役 河崎 庄司

◆(株)KEIHIN(3月1日付)

新：代表取締役 飯島 一貴

旧：代表取締役 飯島 博貴

※退会について

◆北條鉄工(株) 代表取締役 北條 裕明(3月31日付退会)
(会員数 102社→101社)

※顧問弁護士による法律相談日の日程変更について

◆令和4年6月の第4木曜日(6月23日)は、定時総会と重なるため、翌日の24日(金)に変更します。

◆令和5年1月の第4木曜日(1月26日)は、正月太子講祭と重なるため、翌日の27日(金)に変更します。

◆令和5年2月の第4木曜日(2月23日)は、祝日と重なるため、翌日の24日(金)に変更します。

(神建協・連絡)

※令和4年度協会表彰式

日 時 5月24日(木) 午前10時15分
場 所 神奈川県建設会館

※令和4年度通常総会

日 時 5月24日(木) 午前11時
場 所 神奈川県建設会館

※任期満了に伴う新役員の推薦について

標記推薦依頼がありましたので、川崎支部より理事5名
(副会長枠を含む)、監事1名を推薦しました。

被推薦者(敬称略)

副会長・川崎支部長 村松 久
理 事 福島 圭一、大島 裕和、重田 洋一、
佐藤 雅徳
監 事 山根 崇

※建設みらい委員会委員の任期満了に伴う推薦について

標記推薦依頼がありましたので、川崎支部より次の2
名を推薦しました。

被推薦者(敬称略)

1.大川原 勝 大川原建設(株) 代表取締役社長
2.吉田 哲也 (株)トビキク 代表取締役

※神奈川県土木管理技士会役員の任期満了に伴う推薦について

標記推薦依頼がありましたので、川崎支部より次の3
名を推薦しました。

被推薦者(敬称略)

川崎支部長 福島 圭一 大栄建設(株) 代表取締役
理 事 重田 洋一 (株)重田組 代表取締役
運営委員 藤原 秀幸 藤原建設(株) 代表取締役

5月18日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

令和3年度入札結果集計表(協会員実績)について

※令和4年度(第77回)定時総会の開催について

日 時 令和4年6月23日(木) 午後2時
会 場 川崎建設会館 4階講堂
議 題

【報告事項】

①令和4年度事業計画及び収支予算について

【議決事項】

①令和3年度事業報告について

②令和3年度収支決算の承認及び公益目的支出計画
実施報告書(案)について

③役員の選任について(任期満了に伴う役員改選)

※商工会議所機関誌「かいぎしょ」7・8月合併号への暑中見
舞い広告の掲載について

※日刊建設工業新聞・2022年神奈川安全企画特集号への広
告掲載について

※産業廃棄物管理票交付等状況報告の提出について

神奈川県環境農政局資源環境推進課長

※令和4年度川崎市若手技術者・女性技術者表彰の表彰対
象者の募集について

財政局検査課

※代表者の変更について

◆幸伸工業(株) (4月5日付)

新：代表取締役 廣瀬 和義
旧：代表取締役 小沼 保

※顧問弁護士による法律相談日の日程変更について

◆令和4年6月の第4木曜日(6月23日)は、定時総会と重なるため、翌日の24日(金)に変更します。

(神建協・連絡)

※支部ヒアリング・意見交換会の日程について

日 時 令和4年6月2日(木) 午後2時
場 所 川崎建設会館 会議室
形 式 意見交換会

協会出席予定者 会長並びに土木、建築委員会担当副会
長、正副委員長

6月8日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和4年度定時総会の開催次第について

※令和4年度定時総会の議案について

※新聞各社への暑中広告掲載費の支出について

※日刊建設通信新聞社・神奈川県内建設業労働災害撲滅
キャンペーン「2022年度全国安全週間」企画特集号への
広告掲載について

※稲毛神社例大祭名入提灯の協賛について

稲毛神社氏子青年会

※令和4年度幸区総合防災訓練参加に係る費用の支出について

6月5日(日) 幸区役所

※事務局職員に対する夏季手当支給について

※事務局夏季休業について

休業日：8月12日(金)～17日(水)

※請負工事における安全管理・災害防止対策の徹底について
川崎市上下水道事業管理者

※代表者の変更について

◆加図建設㈱ (令和4年4月3日付)

新：代表取締役 門部 正人

旧：代表取締役 加藤 盛雄

※弔慰について

●当協会監事 税理士法人あおぞら会計 庄嶋 弘介様

ご令室 庄嶋チエ子様(92歳) 令和4年6月2日ご逝去

(葬儀は滞りなく終了いたしましたとのご報告をいただきました。)

(神建協・連絡)

特にありません。

7月13日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※9月太子講祭の開催について

日 時 9月28日(水) 午後1時15分開講～午後2時太子講祭開会

※令和4年度川崎市労働災害防止功労者及び功労団体の推薦について

川崎市長

◆功労者：㈱横山工務店 代表取締役 横山 清

(建災防川崎北分会より推薦)

◆功労団体：㈱伸栄工事

(建災防川崎南分会より推薦)

※入札制度「かながわ方式」における最低制限価格率の見直しについて

県土整備局県土整備経理課

※夏季の省エネルギーの取組について

経済産業省資源エネルギー庁長官

※第43回かわさき市民祭り実行委員会の結果について

川崎市長

※第81回川崎市制記念多摩川花火大会の中止について

川崎市長ほか

※令和4年夏の交通事故防止運動の実施について

川崎市交通安全対策協議会

実施期間 7月11日(月)～20日(水)までの10日間

※代表者の変更について

◆㈱丸三(令和2年10月1日付)

新：代表取締役 高橋 勇太

旧：代表取締役 高橋 弘文

◆川崎建設㈱(令和4年5月20日付)

新：代表取締役 石坂 健司

旧：代表取締役 石坂 博持

◆賛助会員 川崎市川連建設協力会(令和4年6月28日付)

新：会長 ㈱櫻沢工務店 櫻沢 靖生

旧：会長 ㈲山善工務店 山田 三行

(神建協・連絡)

特にありません。

懇談会・説明会・見学会・その他行事

1月5日、川崎建設会館において、(一社)川崎建設業協会並びに神中建川崎支部合同の令和4年賀詞交換会が開催され、会員多数が参加し盛会に行われた。

1月12日、正副会長並びに神中建川崎支部長は、福田川崎市長をはじめ、伊藤、加藤、藤倉副市長、関係局長及び関係団体へ新年の挨拶廻りを行った。

1月19日、川崎建設会館において、公明党川崎市議会議員団との政策要望の打合せが開催され、公明党川崎市議会議員団より、かわの団長をはじめ5名が出席し、当協会より正副会長をはじめ、土木委員会より藤原副委員長、建築委員会より大川原委員長が出席した。

1月21日、川崎建設会館において、建築委員会はまちづくり局と施設整備に関する意見交換会を開催し、まちづくり局より原嶋施設整備部長をはじめ5名、建築委員会から大島担当副会長、大川原委員長をはじめ10名が出席した。

4月7日及び13日、正副会長は、令和4年4月1日付け川崎市人事異動に伴い、新設された危機管理本部並びにまちづくり局長ほか関係局へ挨拶廻りを行った。

4月15日、川崎建設会館において、総務企画局より講師をお招きして総務委員会主催の「SDGs未来都市かわさき」についての講演会が開催され、会員多数が参加した。

6月2日、川崎建設会館において、(一社)川崎建設業協会令和3年度事業報告並びに収支決算及び公益目的支出計画実施報告について、佐藤、篠原、庄嶋監事による会計監査が行われた。

6月23日、川崎建設会館において、福田川崎市長、草壁川崎商工会議所会頭、松尾(一社)神奈川県建設業協会会長を来賓に迎え、令和4年度定時総会が開催され、報告事項1「令和4年度事業計画」、報告事項2「令和4年度収支予算」を報告した。引き続き、決議事項として、第1号議案「令和3年度事業報告」並びに第2号議案「収支決算の承認」及び「公

益目的支出計画実施報告書」について審議し、原案どおり承認可決した。その後、第3号議案として「役員の選任」について審議し、任期満了に伴う役員の改選を原案通り承認可決した。

【令和4年度への予算要望について】

7月7日、市役所第2庁舎において正副会長並びに岡村神中建川崎支部長は、藤倉副市長と面談し、川崎市長あての令和5年度への要望(7項目)について、意見交換を行った。

＝要望項目＝

- (1)週休2日制の導入について(継続)
- (2)補助金事業の発注について(継続)
- (3)PPP・PFI事業の導入について(継続)
- (4)資材単価高騰への対応について(新規)
- (5)川崎市(川崎市上下水道局)工事請負契約約款「第62条(あっせん及び調停)」及び「第63条(仲裁)」の条文に基づく運用の適正化について(新規)
- (6)最低制限価格算定式の改定(「一般管理費等」に対する掛率の引き上げ)について(新規)
- (7)「災害時協定等締結団体」の会員業者に対する、入札参加資格におけるインセンティブについて(新規)

【緊急要望】

7月7日、市役所第2庁舎において、正副会長並びに岡村神中建川崎支部長は藤倉副市長と面談し、川崎市長あての建設資機材価格高騰等についての緊急要望を行った。

7月7日、正副会長並びに岡村神中建川崎支部長は、川崎市議会議員団の各団長あてに、建設資機材価格高騰等についての緊急要望を提出した。

なお、この要望については、7月13日、19日の両日に開催される川崎市議会議員団との「令和5年度予算への要望」に対する懇談会、意見交換会において、要望内容の説明を行います。

関係団体の動き

1月5日、ロイヤルパークホテル横浜において、令和4年建設業関連5団体合同賀詞交歓会が開催され、来賓に黒岩県知事、県会議長らをお迎えして盛会に行われ、村松副会長(川崎支部長)をはじめ、会員多数が出席した。

1月13日、神奈川県青少年センターにおいて、第10回建設フォーラムが開催され、川崎支部より7名が参加した。

2月8日、神奈川県建設会館において、第9回常任理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

2月14日、神奈川県建設会館において、第2回企画委員会

が開催され、佐藤委員が出席した。

2月16日、神奈川県建設会館において、第2回労務・環境委員会が開催され、福島委員長が出席した。

2月17日、神奈川県建設会館において、第2回建築委員会が開催され、村松担当副会長、大島委員が出席した。

2月22日、ワークピア横浜において、第3回理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長、大島、重田、佐藤理事が出席した。

2月24日、神奈川県建設会館において、支部事務局長会議が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

2月25日、神奈川県建設会館において、関東地方整備局県内事務所長との意見交換会が開催され、村松副会長が出席した。

3月4日、横浜西合同庁舎において、県土整備局所長会との意見交換会が開催され、村松副会長が出席した。

3月9日、ワークピア横浜において、第4回建設みらい委員会が開催され、大川原委員が出席した。

3月22日、神奈川県建設会館において、第10回常任理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

3月29日、ワークピア横浜において、第4回理事会が開催され、村松副会長、大島理事、重田理事、佐藤理事が出席した。

4月20日、県建設会館において、令和3年度神奈川県建設業協会の会計監査が開催され、山根監事が出席した。

4月26日、県建設会館において、令和4年度第1回理事会が開催され、村松副会長、福島理事、大島理事、重田理事、佐藤理事、山根監事が出席した。

5月24日、県建設会館において、令和4年度(一社)神奈川県建設業協会表彰式が開催され、川崎支部では次の方が受賞した。

◆特別功労	吉田 哲也様	(株)トビキク
◆会員の役員	松井 章様	(株)織戸組
◆会員の従業員	石塚 裕一様	(株)織戸組
	響 邦明様	ジェクト(株)
	糀谷 知田様	//
	福山 哲己様	//

5月24日、県建設会館において、令和4年度通常総会が開催され、令和3年度事業報告並びに決算について審議し、いずれも原案通り可決・承認された。また、本年は任期満了に伴う役員改選が行われ、別紙名簿のとおり役員が決定した。また報告事項として、令和4年度事業計画及び予算について報告があった。

5月25日、県建設会館において、第1回建築委員会が開催され、村松副会長と大島委員が出席した。

6月2日、川崎建設会館において、神建協及び県土木施工管理技士会と川崎支部の令和4年度意見交換会が開催され、村松副会長(川崎支部長)並びに川建協山根会長をはじめ、土木、建築委員会担当副会長、正副委員長及び事務局計9名が出席し、県・市発注工事に係る入札・契約及び施工上の課題等について意見交換を行った。

6月14日、県建設会館において、第1回土木委員会が開催され、重田委員が出席した。

6月21日、県建設会館において、第1回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

6月24日、横浜ロイヤルパークホテルにおいて、第1回建設みらい委員会が開催され、大川原、吉田委員が出席した。

6月24日、横浜ロイヤルパークホテルにおいて、参議院議員足立としゆき講演会が開催され、川崎支部より4名が出席した。

7月6日、県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会の第1回運営委員会が開催され、藤原委員が出席した。

各方面への協力

12月22日、川崎市総合自治会館において、かわさき市民放送(株)第5回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

12月23日、川崎日航ホテルにおいて自民党第10支部第26回定期大会が開催され、山根会長が出席した。

1月7日、フロンティアビルにおいて、(一社)川崎市電設工業会の賀詞交歓会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

1月20日、令和3年度「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定書」に基づく震災対策訓練が実施され、県からの要請により、東生建設(株)が横浜川崎治水事務所に自動出動し、安全点検を実施するとともに、猿山総務課長が協会事務局において受伝達訓練を行った。

2月2日、川崎市総合自治会館において、かわさき市民放送の臨時株主総会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

2月4日、市役所第3庁舎において、令和3年度第2回川崎市労働問題懇談会が開催され、大島副会長が委員として出席した。

2月8日、川崎市産業振興会館において、令和3年度第3回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

2月14日、川崎市産業振興会館において、令和3年度第57回川崎市労働災害防止研究集会が開催され、企画委員会委員をはじめ4名が出席した。

2月16日、キングスカイフロントマネジメントセンターにおいて、川崎市道路利用者会議の現地見学会が開催され、山根会長が委員として出席した。

2月21日、川崎日航ホテルにおいて、衆議院議員 田中和徳 新春の集いが開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

3月22日、川崎市総合自治会館において、かわさき市民放送(株)令和3年度第6回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

3月24日、ステーションコンファレンス川崎において、令和3年度川崎市防災会議が開催され、山根会長が委員として出席した。

3月24日、川崎市産業振興会館において、令和3年度第2回川崎市産業振興協議会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

3月24日、ZOOMにより、川崎市木材利用促進フォーラム運営委員会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員として出席した。

3月28日、財政局契約課において、土木委員会は、契約課と入札契約制度等について意見交換会を開催し、契約課より大塚契約課長をはじめ3名、土木委員会より重田委員長と藤原副委員長が出席した。

3月29日、川崎建設会館において、まちづくり局住宅政策部と市営住宅立替計画等についての意見交換会が開催され、まちづくり局より清水市営住宅立替推進課長をはじめ8名が出席し、建築委員会より大島担当副会長、正副委員長をはじめ5名が出席した。

4月8日、川崎市第3庁舎において、ウクライナ人道危機への救援金として山根会長(大島、重田、佐藤副会長)より、日本赤十字社川崎市地区本部長(川崎市長)へ100万円を寄託し、川崎市地区本部長である川崎市長より感謝状をいただいた。

4月14日中原市民館において、日本共産党「日本と川崎の現状と未来を語り合う各界懇談会」が開催され、重田副会長と専務理事が出席した。

4月16日、ホテルKSPにおいて、橋本勝市議会議長の市議会議長就任並びに市政報告会が開催され、山根会長が出席した。

4月27日、川崎市コンベンションホールにおいて、公明党参議院議員「三浦のぶひろ時局講演会」が開催され、正副会長をはじめ執行部9名が出席した。

5月9日、川崎日航ホテルにおいて、田中和徳衆議院議員主催の「元参議院議員浅尾慶一郎国政を語る」が開催され、山根会長が出席した。

5月18日、市役所第3庁舎において、令和4年度第1回川崎市環境審議会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員

として出席した。

5月20日、川崎フロンティアビルにおいて、(一社)神奈川県建築士会川崎支部の令和4年度通常総会後の懇親会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月25日、川崎市産業振興会館において、令和4年度第1回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

5月27日、ホテルKSPにおいて、建災防神奈川支部川崎北分会の令和4年度通常総会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月27日、ユニオンビルにおいて、(一社)神奈川県建築士事務所協会並びに(一社)川崎市建築設計事務所協会の令和4年度合同定時総会が開催され、大川原建築委員会委員長が来賓として出席した。

5月30日、川崎市総合自治会館において、かわさき市民放送(株)2022年度第1回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

5月31日、JAセレサみなみにおいて、令和4年度第1回川崎市環境審議会(仮称)脱炭素化部会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員として出席した。

5月31日、パレール三井ビルにおいて、川崎市PPPプラットフォームコアメンバー会議が開催され、大島副会長と鳥羽建築委員会副委員長が出席した。

5月31日、川崎日航ホテルにおいて、建災防神奈川支部川崎南分会の令和4年度通常総会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

6月2日、川崎日航ホテルにおいて、神奈川県知事黒岩祐治氏を囲む会が開催され、山根会長が出席した。

6月3日、カルッツかわさきにおいて、川崎市道路利用者会議 理事会及び第43回定時総会が開催され、山根会長が副会長として出席した。

6月7日、市役所第3庁舎において、かわさき市民祭り検討会議が開催され、当協会より村松常任相談役が出席した。

6月24日、川崎市コンベンションホールにおいて、令和4年度第27回かわさき市民放送定時株主総会が開催され、山根会長が出席した。引き続き、第2回取締役会が開催され、山根取締役が出席した。

6月27日、川崎商工会議所において、「川崎市の幹線道路の整備を促進する会」の令和4年度第1回幹事会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

6月27日、萬喜において、令和4年度幸友会通常総会が開催され、門ノ沢専務理事が来賓として出席した。

7月6日、ロイヤルホールヨコハマにおいて、「三原じゅん子 経済人緊急選対会議」が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

7月7日、ロイヤルホールヨコハマにおいて、「あさお慶一郎を支援する経済人の会」決起集会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

表 彰

(敬称略)

令和3年度川崎市労働災害防止研究集会

2月14日、川崎市産業振興会館において

◆川崎市労働災害防止功労者

(株)トビキク 代表取締役 吉田 哲也

◆川崎市労働災害防止功労団体

(株)井上工務店

令和3年度建設ステーション元気アップコンテスト技能者

表彰

※コロナウイルス感染症拡大防止の観点から表彰式

(3/16)は行われなかった

大規模工事部門奨励賞：(株)大山組、ジェクト(株)

令和3年度川崎市優良建築設計者表彰

3月17日、まちづくり局長室において

(株)大山組 代表取締役 生井 賢一

令和3年度神奈川県土木施工管理技士会「優秀技術者表彰」

4月26日、県建設会館において

(株)重田組 寺田 義明

令和4年度(一社)神奈川県建設業協会表彰

5月24日、県建設会館において

特別功労 吉田 哲也 (株)トビキク

会員の役員 松井 章 (株)織戸組

会員従業員 (株)織戸組 石塚 裕一

ジェクト(株) 響 邦明、萩谷 知田、

福山 哲己

令和4年度(一社)全国建設業協会表彰

6月7日、全建総会において

・25年以上にわたりよく職務に精励し、勤務成績が良好で有る者

河崎組建設業(株) 一戸 嘉夫

ジェクト(株) 山田 勝義

令和4年度川崎市商工業従業員永年勤続者表彰

7月13日、川崎市産業振興会館において

(株)織戸組 森田真紀子、下川原孝弘、高橋 真吾
(株)興建 東川 健人
幸伸工業(株) 金子 淳一、宮澤 喜好
(株)伸栄工事 佐藤 達夫
神明建設(株) 木村 裕次
(株)村松工務店 横田 雅紀
野州工業(株) 中村 賢、小川 和則、真壁 理文、
(株)山根工務店 菊地 久幸、鈴木 浩二

令和4年度道路功労者表彰

8月10日、(公財)日本道路協会において

藤原建設(株) 代表取締役 藤原 秀幸

令和4年度川崎市優良事業者表彰

8月25日、川崎市役所第3庁舎において

土木部門 (株)丸栄建設
下水管きよ部門 (株)渡辺土木、清生土木(有)
舗装部門 岡村建興(株)、河合土木(株)
建築部門 (株)吉忠工務所、(株)興建
水道施設部門 幸伸・大道共同企業体、重田造園土木(株)
とび・土工部門 (株)小沼工務店

若手技術者表彰

志賀 裕樹 (幸伸工業(株))
鈴木 重幸 (矢島建設工業(株))

女性技術者表彰

齋藤 由季 (株)幸栄工業)
久保田摩智子 (浅川建設工業(株))

6月3日、高津区役所道路公園センターにおいて、高津区役所道路公園センターと高津作業隊との事業説明会が開催され、高津区役所道路公園センターより田之倉所長をはじめ4名、高津作業隊より浅川隊長をはじめ11名が出席し、令和4年度事業の説明を受けた後、災害時の応急対応等について打合せを行った。

6月5日、幸区役所において、令和4年度幸区総合防災訓練が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席し、災害派遣の活動写真等のパネル展示を行い、川崎建設業協会のPRに努めた。

6月5日、多摩川河川敷において、令和4年度多摩川美化活動が実施され、中原作業隊より、横山副隊長をはじめ6名が参加した。

7月13日、幸区役所において、幸区役所道路公園センターと幸作業隊との事業説明会並びに災害に対する意見交換会が開催され、幸区役所道路公園センターより石井所長をはじめ6名、幸作業隊より吉田隊長をはじめ10名が出席し、令和4年度事業の説明を受けた後、災害時の応急対応等について意見交換を実施した。

7月20日、麻生区役所道路公園センターにおいて、麻生作業隊は、麻生区役所道路公園センターと災害復旧等に関する意見交換会を開催し、麻生区役所道路公園センターより平井所長をはじめ5名が出席、麻生作業隊より根本隊長をはじめ4名が出席した。

7月22日、宮前区役所道路公園センターにおいて、宮前区役所道路公園センターと宮前作業隊(宮前区内建設業者と合同)との事業説明会並びに防災に関する意見交換会が開催され、宮前区役所道路公園センターより矢口所長をはじめ3名、宮前作業隊より河合隊長をはじめ4名が出席し、令和4年度事業の説明を受けた後、防災に関する意見交換を実施した。

8月4日、川崎区役所道路公園センターにおいて、川崎作業隊は、川崎区役所道路公園センターと災害時の応急対応等についての打合せ会を開催し、川崎区役所道路公園センターより小林所長、河原整備課長が出席、川崎作業隊より石塚隊長、佐藤、松本副隊長が出席した。

8月18日、川崎市消防訓練センターにおいて、令和4年度川崎市総合防災訓練(第43回九都県市合同防災訓練)の第2回救出救護訓練事前会議が開催され、宮前作業隊より河合隊長、藤原副隊長が出席した。

9月4日、川崎市消防訓練センターほか(宮前区内)において、令和4年度川崎市総合防災訓練(第43回九都県市合同防災訓練)が、関係機関や市民らが参加して実施された。午前8時30分川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3、最大震度7の強い地震が発生し、宮前区をはじめとする市

特設作業隊関係

12月23日、幸区役所において、令和3年度第1回幸区災害対策協議会地域防災連絡部会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

5月9日、幸区役所において、幸区自主防災連絡協議会の令和4年度第1回常任理事会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

5月24日、中原区役所道路公園センターにおいて、中原区防災・建設研修会が開催され、中原区役所道路公園センターより大野所長をはじめ7名が出席、中原建友会(中原作業隊)より横山会長、重田作業隊長をはじめ11名が出席し、中原区内の令和4年度発注予定工事及び防災対策・訓練について説明を受けた後、災害時の対応について意見交換を行った。

内全域で、家屋の倒壊や火災により、多数の死傷者が出ているとの想定で訓練が開始され、宮前作業隊河合隊長以下11名は9時10分道路啓開訓練を開始、道路上に散乱した瓦礫を宮前区役所道路公園センターの先導のもと、迅速な対応で除去し、9時20分無事訓練を終了した。

なお、今年度は訓練の規模縮小のため、本部からは事務局長、事務局員の2名が参加した。

会員消息

弔 事

河崎組建設業株式会社

代表取締役社長 河崎 庄司様(43歳)

(当協会理事 河崎組建設業(株))

代表取締役会長 河崎 茂様 ご長男)2月7日ご逝去

副会長 野州工業株式会社 代表取締役 大島 裕和様

ご尊父 大島 廣史様(85歳)2月8日ご逝去

監事 税理士法人あおぞら会計 庄嶋 弘介様

ご令室 庄嶋チエ子様(92歳)6月2日ご逝去

代表者変更

(株)丸三 代表取締役 高橋 勇太(令和2年10月1日付)

露木建設(株) 代表取締役社長 露木 直巳

(令和3年11月27日付)

河崎組建設業(株) 代表取締役 河崎 茂(2月15日付)

(株)KEIHIN 代表取締役 飯島 一貴(3月1日付)

加図建設(株) 代表取締役 門部 正人(4月3日付)

幸伸工業(株) 代表取締役 廣瀬 和義(4月5日付)

川崎建設(株) 代表取締役 石坂 健司(5月20日付)

須藤工業(株) 代表取締役 山田 正樹(8月1日付)

賛助会員

川崎市川連建設協力会 会長 (株)櫻沢工務店

櫻沢 靖生(6月28日付)

住所変更

大場建設(株)(2月11日付)

〒211-0053 中原区上小田中1-36-14

TEL:044-741-2218 FAX:044-741-2217

会員の退会

宮田土建工業(株) 代表取締役 野平 雅人(3月31日付)

北條鉄工(株) 代表取締役 北條 裕明(3月31日付)

令和4年1月5日

第8回 役員会(新年顔合わせ)

協会の新年賀詞交換会終了後、「シーハーズ」に移動して開催。今後の活動等について協議した。

令和4年1月

1月例会 新年懇親会 →中止

コロナウイルスの変異株の広がりで感染者が再拡大している状況では安全確保が困難なことから、やむを得ず昨年に続き中止とした。

令和4年2月

第9回 役員会 →中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

令和4年3月11日

第10回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。

視察研修会、家族交流会、川崎市建設青年会(CSR活動)等について協議した。

令和4年3月

家族交流会 →中止

コロナウイルスの変異株の感染拡大状況を鑑みて、本年も中止を決めた。

令和4年4月16日

川崎市建設青年会「CSR活動」幹事会

午後6時30分より、川崎市管工事業協同組合会議室にて開催。

今夏のミストシャワー寄贈設置に向け例年より早く準備打合せを始め、役割分担等について協議した。



令和4年4月22日

「令和3年度 締めめの懇親会」開催

午後6時30分より、「緑道食堂」にて開催。多くの人が集まる例会が新型コロナウイルスの感染拡大防止等の状況で活動自粛が続きの中、マスク飲食ではあったが来期の活動等意見交換を交えながら一年の労をねぎらった。

令和4年5月12日

令和4年度 通常総会

午後6時より、川崎建設会館4階講堂にて開催。

総会出席者 会員21名中14名(うち委任状提出4名)

第1号議案 令和3年度 事業報告について

第2号議案 令和3年度 収支決算報告について

第3号議案 令和4年度 役員選出

総会終了後、同会場において二世会相談役・参与、協会専務理事にご参加いただき、三年ぶりに懇親会を開催した。

令和4年度(第58代)二世会 新役員(全20名)

会 長	澤田 貴裕	(株)澤田組
副会長	柳 浩先	(有)柳商店
副会長	飯島 一貴	(株)KEIHIN
会 計	井上 和俊	ケイ・アイ(株)
幹 事	石田 純	追川建設(株)
幹 事	石塚 太一	(株)石塚土木
幹 事	加藤 大貴	加藤土建(株)
幹 事	河合 一徳	河合土木(株)
幹 事	佐野真太朗	(株)佐野建設
幹 事	城田 博章	東生建設(株)
幹 事	高橋 達也	高橋建設興業(株)
幹 事	鳥羽 貴仁	(株)興建
幹 事	長沼 健太	長栄興業(株)
幹 事	福島 章太	大栄建設(株)
幹 事	福本 誠慶	(有)喜有組
幹 事	藤原 秀幸	藤原建設(株)
幹 事	松本 勝明	神明建設(株)
幹 事	矢野 雄樹	(株)トモエコーポレーション
幹 事	吉田 哲也	(株)トビキク
幹 事	渡辺誠一郎	(株)渡辺土木



令和4年5月15日

令和4年度川崎市市民野球大会一回戦

小田球場にて、「ザリガニ」と対戦し、8対1のコールド勝利。

令和4年6月19日

令和4年度川崎市市民野球大会二回戦

小田球場にて、「ボンバーズ」と対戦し、5対3でホームランも実らず敗退。

令和4年6月3日～5日

研修旅行 四国(愛媛・高知)

三年ぶりに研修旅行(愛媛・高知)を計画し、松山城天守からの瀬戸内海の眺めや、四万十川の絶景と土佐料理を楽しんだ。

令和4年6月25日

川崎市建設青年会「CSR活動」ミストシャワー設置

盛夏に向けての熱中症対策として、昨年に引き続いてのCSR活動で川崎市立川中島小学校にミストシャワーを設置(寄贈)した。

令和4年6月30日

川崎市建設青年会 CSR活動報告・懇親会

午後7時より、川崎ダイスビル「煌蘭」にて開催。

盛夏となる前に令和4年度のCSR活動ミストシャワー設置が終了し、報告会とコロナ禍で自粛していた他団体と顔合わせで久しぶりの交流の場となり、今後の活動等協議した。

令和4年7月1日

第1回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。

58周年記念会について、建設青年会の報告、今後の活動方法等について、協議した。



令和4年7月8日

令和4年度 県青連春季研修会

午後5時より、ローズホテル横浜にて開催。講演会には横浜市前市長 林 文子 氏を迎え、「未来の建設業経営者の目標設定」と題した講演会が行われ、終了後は、同会場にて久しぶりに他団体との親睦を深めた。

令和4年8月

8月例会 58周年記念会 →中止

多くのイベント開催が動き出し、三年ぶりの記念会開催準備を進めていたが、連日のコロナウイルス感染の増加人数報道を受け、ご参加いただく皆様の健康を考え、やむなく今年度も中止となった。

令和3年8月

第2回 役員会 →中止

新型コロナウイルスの感染者が急増し、8月例会(58周年記念会)も中止を決めたことから準備を進める今回の役員会も中止とした。



現場レポート「川崎市新本庁舎新築工事」

現在工事が進んでいる、川崎市新本庁舎新築工事の現場を見学させていただきました。大変忙しいなか大成建設株式会社作業所長根上様にご協力いただき工事説明及び、現場内を説明いただきましたので、ご紹介させていただきます。

・新本庁舎の特徴

- 本庁舎敷地に超高層棟及び、旧本庁舎の一部を復元した低層の復元棟を配置し、第2庁舎跡地は広場にします。また、超高層棟低層部及び復元棟を半屋外のアトリウムと回廊デッキで接続し、情報プラザやカフェ、コンビニ、研修・大会議室、屋上庭園等を配置して、にぎわいを創出します。
- 低層部は復元棟及び回廊デッキのセキュリティを他の部分と分離しており、閉庁時には官民協働の会議・イベントスペース、災害時には多目的防災スペースにも転用できる共用会議室を配置し、超高層棟中高層部には、行政機能及び議会機能を配置し、最上部に議場、展望ロビー、スカイデッキなどを設けます。
- 災害対策も強化しており、耐震性の高い都市ガス（中圧ガス）を利用した非常用発電機及びコージェネレーションシステムを設置し、商用電源途絶時にガスによる自家発電で通常業務必要電力の約90%をカバーするとともに、ガス途絶時も備蓄燃料の軽油のみで非常用発電機を運転し、通常業



撮影：令和4年8月3日

務必要電力の約70%を7日間カバーします。

- 給排水設備については、災害応急対策活動に従事する職員の7日分の飲用水・雑用水を備蓄するとともに、15日以上排水を可能にするための緊急汚水槽・排水再利用設備を整備します。地震・水害対策として強い揺れにより様々な複合災害が起こることを想定し、都市型防災庁舎として免震構造（中間階免震）としています。

出典：川崎市ホームページ

建物概要

敷地面積：6,002.11平方メートル
 建築面積：4,357.79平方メートル
 延べ面積：62,356.11平方メートル
 階数：地下2階、地上25階、塔屋1階
 最高高さ：116.97メートル
 構造：鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造、
 鉄骨鉄筋コンクリート造
 ※免震構造



新本庁舎建築予定図

・根上所長へ一問一答

Q ■ 施工者から見た新本庁舎超高層棟の最大のアピールポイントは何でしょうか？

A ■ 公共工事独特の分離発注方式となっており、建築以外の設備や電気等、様々な工種の会社と1つのチームとして工事を行っていることだと思います。また、川崎市内業者にも協力をいただき、進めています。

Q ■ 市街地での施工に当たり、ご苦労されている点がありますか？

A ■ 9月に超高層棟の鉄骨建方が完了しましたが、山留掘削や杭など目に見えない地下の工事が大変で、約1年かけて地上の工事へと移りました。

その他にも大変なことはありますが、たくさんの方々に注目され見られている事業ですので、プライドを持って進めています。

Q ■ 採用されている新工法や貴社独自の工法などあれば教えてください。

A ■ 新工法や独自の工法ではありませんが、災害につよい建物として、3階と4階の間に免震層を設けた中間階免震構造が採用されています。その上層に機械室、さらに上階に災害対策機能を持った諸室を配置することにより、地震や水害などの災害発生時に行政機能が停止せず対応できるように考えられています。

また、工法として1階床先行方式を採用しています。1階床部分を地下工事に先行して施工することで、その上部の地上躯体工事に早期に着手することができ、地下躯体工事が完了する頃には、地上部の鉄骨工事が進んでいる状況になります。

1階床先行方式は、地下階が完成していない状態で地上躯体の重みを支えるため、詳細な検討をし、地下鉄骨等に、特別な補強をする必要がありますが、全体工程を短縮できるメリットがあります。



CCUSの入退場と体温測定を同時に



熱中症対策の製氷機が並び

Q. ICTの活用事例があれば教えてください。

A. ちょうどコロナの第一波の頃に着工しました。

多い時で500名以上の人の出入りがありますので、まずは対面する機会を減らすことに重点を置き、対策しました。

朝礼や打ち合わせなどはほとんどweb会議を利用し、協力会社にもスマホやタブレットに共通のアプリをダウンロードしてもらい、web上で打ち合わせ等を行う体制をとりました。

その他、専用のカメラを持ちながら現場内を移動し、AIが進捗状況の確認や危険な箇所が無いかなどの判断ができるツールもあります。

Q. 事故防止や熱中症・コロナ対策など貴社の安全啓蒙活動への取り組みについて教えてください。

A. 安全パトロールについては、週に1～2回、事業者パトロールを実施し、いいところ・ダメなところを写真にとり災害防止協議会で改善をするようにしています。

協力会社の職長で構成されている職長会でもパトロールや美化活動を実施しています。

熱中症対策については飲み物を飲める場所（ポカリ等設置）をつくり、だれでもいつでも水分補給ができるようにしています。また、熱中症パトロールとして塩あめを配って歩いたり、熱中症パトロールとは別ですが、女性が働きやすいようにと女性担当者に集まってもらい、現場内を巡回し、女性が働きやすい環境にするにはどうするかなども考えています。

他の協力会社の方々も含め、チーム全体で安全を高める意識で日々業務に励んでいます。

最後に、忙しい中、取材を快く受けていただきました、大成建設株式会社根上所長及び工事に係わる関係者の皆様、誠に有難うございました。今回のプロジェクトにかける熱い思いを感じた取材となりました。



内部見学状況



工事名称 クレスト小杉スクエア新築工事
工事場所 川崎市中原区新丸子町973-2
工事概要 敷地面積 205.02㎡
 建築面積 108.86㎡ (建蔽率 53.10%)
 延床面積 670.13㎡ (容積率 326.87%)
 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上10階
 用途 共同住宅
 戸数 26戸
発注者 尾張屋土地株式会社
工期 令和2年7月1日～令和3年8月31日
施工 株式会社 大山組
 ☆令和3年度 川崎市優良建築設計者 被表彰者

会員の作品



工事名称 日吉中学校校舎改修その他その3工事

工事場所 川崎市幸区北加瀬2-3-1

工事概要 建築主体工事・屋外付帯工事

給排水衛生換気設備工事・消火工事

電力設備・情報設備・防災設備工事

発注者 川崎市長

監督官庁 川崎市まちづくり局施設整備部長寿命化推進担当

工期 令和3年5月6日～令和3年11月30日

施工 株式会社 吉忠工務所

☆令和4年度 川崎市優良事業者表彰（業種：建築）被表彰者



工事名称 主要地方道東京大師横浜舗装道補修（切削）工事
工事場所 川崎市川崎区浅田2丁目18番地先
工事概要 工事延長 L=3,622.5m 工事幅員 W=3.6m~17.0m
 排水性アスファルト(A) A=34,000㎡
 排水性アスファルト(B) A=950㎡
 溶融式区画線(A) L=8,000m 溶融式区画線(B) L=300m
 溶融式区画線(C) L=2,750m 溶融式区画線(D) L=70m
 溶融式区画線(E) L=1,800m 溶融式区画線(F) L=2,182m
 溶融式区画線(G) L=500m 溶融式区画線(H) L=297m
 溶融式区画線(I) L=297m 溶融噴射式カラー塗装工 A=85㎡
発注者 川崎市長
監督官庁 川崎市川崎区役所道路公園センター
工期 令和3年12月10日~令和4年3月31日
施工 河合土木 株式会社
 ☆令和4年度 川崎市優良事業者表彰（業種：舗装）被表彰者



工事名称 神庭特別緑地保全地区斜面安定整備工事
工事場所 川崎市高津区蟹ヶ谷97-5ほか
工事概要 吹付法枠工 L=607m
 ラス金網工 A=585㎡
 法枠内吹付工 A=312㎡
 鉄筋挿入工（無足場工法） N=73本
 フェンス設置工 L=41m

発注者 川崎市長

監督官庁 川崎市緑政局 緑政部 みどりの保全整備課

工期 令和2年12月23日～令和3年 6月30日

施工 株式会社 小沼工務店

☆令和4年度 川崎市優良事業者表彰（業種：とび・土工）被表彰者

二ヶ領用水久地円筒分水

二ヶ領用水の名は、江戸時代の川崎領と稲毛領にまたがって流れていたことに由来しており、現在の川崎市のほぼ全域を流れる神奈川県下で最も古い人口用水の一つです。

当時の多摩川は、洪水を繰り返す大変荒々しい川で、その為周辺の土地は水田工作による農業生産基盤が脆弱でした。天正18年(1590)、徳川家康の関東移封に伴い、新田開発が計画され、慶長2年(1597)、治水と新田開発の命を受けた当時の代官小泉次大夫(慶長6年就任)は、二ヶ領用水の建設に着手し、14年の歳月をかけて慶長16年(1611)に完成させました。

二ヶ領用水の取水口は、上川原堰と宿川原堰の2ヵ所で、取水後高津区久地で合流し、久地分量池を経て四つの堀(久地堀、六ヶ村堀、川崎堀、根方堀)に分水されていました。当時の記録によると、二ヶ領用水の完成により、川崎全域で米の収穫量が飛躍的に伸びたと伝えられています。

一方で、久地分水樋は、堰から溢れ出る流れを木製の門扉によって分水する施設でしたが、構造上正確な分水が難しく、用水をめぐる争いが絶えませんでした。

そこで、昭和16年(1941)多摩川右岸農業水利改良事務所長であった平賀栄治(1892～1982)は、正確な分水管理の出来る分水装置として円筒分水方式を採用し、各地へ用水を正確に分配出来るように造られました。

この円筒分水の技術は、当時としては最も正確な自然分水方式だったことから、各地で同様のものが造られ、平成10年(1998)に国の登録有形文化財に登録されています。

二ヶ領用水は、現在の川崎市の発展の礎を築いたシンボルともいえる歴史のある河川であり、市民に愛され親しまれています。



編集後記

日ごとに秋の気配を感じる今日この頃、皆様お変わりありませんでしょうか。

まず初めに、本号発刊に当たり、お忙しい中ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。また、日本各地での豪雨による災害で被災された方々、ロシアによるウクライナ侵攻により被害にあわれた方々に、心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。

さて、気が付けばこれ2年以上新型コロナウイルス感染症に振り回される日々が続いていますが、今年の夏は3年ぶりに海開きや夏祭り、花火大会などの催しが日本各地で行われ、久しぶりに賑わいをみせた夏となりました。その一方、一人一人の危機意識の低下なのか新型コロナウイルス感染者数過去最多となり、今まで以上に気を引き締めなければならないと強く感じた夏でもありました。

ようやく、うだるような暑さの毎日から、日に日に過ごしやすいく日が増え、夕暮れには虫の音も聞こえるようになりました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはどんな秋を過ごされますか？色々な秋の過ごし方があると思いますが、今一度、徹底した感染防止対策をしっかりと行い爽やかな秋を満喫されては如何でしょうか？

秋は台風シーズンですね。毎年20個以上の台風が発生しています。未だ記憶に新しい川崎市に多大な被害をもたらせた2019年の台風19号。今後も台風や地震などの自然災害からは避けられないと思います。その為にも、日頃からの備えやインフラ整備が我々建設業者の努めだと感じています。若手の担い手不足や働き方改革、建設キャリアアップシステム、資材の高騰や資材入手困難など課題は多々ありますが、今まで以上に皆様と一致団結して地域みんなが安心して暮らせる街づくり、建設業の発展、イメージアップの為に努めていきたいと思っています。

それでは少し早いですが良いお年をお迎えください。

皆様が毎日笑って過ごせますように！

川崎建設業協会のTwitterです。
ぜひご登録をお願いします。



発行所……………一般社団法人 川崎建設業協会

川崎市川崎区宮本町7番地5

電話 044-244-5156 (代) FAX 044-211-2420

発行責任者……………山根 崇

編集者……………一般社団法人 川崎建設業協会 企画委員会